

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年3月1日

事業所名 スタジオそら原宿

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	1	0	・学習と運動の部屋等、部屋を壁で分け、集中しやすいよう工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	3	0	・人員配置を満たしている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	4	・新たに扉の増設を行い、何をやる場なのか分かりやすくした。 ・スタジオの入り口はせまく、階段のみのため必要に応じて保護者や子供の対応をしている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	7	1	1	・ケース会議以外にも、終礼時に子どもの様子など共有し、常に振り返りを行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	7	2	0	・ソフト面に対しては、頂いた意見を取り入れ対応している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	2	0	・HPで公開している。
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	2	・社内でチェック機能を作り、定期的に評価している。
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	7	2	0	・社内研修を実施している。 ・療育についての研修の実施を行いたい(専門職や外部講師)
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	0	・アセスメントに時間を多くとり、情報収集はスタッフで手分けして行っている。 ・保護者とじっくり話せる時間を設けたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1	0	・社内共有のアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	・毎活動時、朝礼、昼礼、終礼の実施。 ・話し合いで療育時の方向性を決めている。 ・プログラムごとに担当者を割り振り、話し合いながら行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	2	0	・学校体育や、あおぞら等、毎月あるプログラムは月ごとにテーマを決めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	7	1	1	・長期休暇時等はイベントを多く設け、様々な事を経験できるように工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	・基本的には個別療育を中心に行っている。集団活動は、必要に応じて相談し、実施を決めている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	・打ち合わせ時に、当日だけではなく、前回の内容も合わせて共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	9	0	0	・全員が発言できるよう、工夫している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	・記録の書き方について、必要に応じて指導している。 ・PCでの情報管理を行いたい。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1	0	・過去の記録をもとにモニタリングを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	1	0	・自立支援⇒スタジオでの個別療育 地域交流⇒あおぞら・そらスクール 創作活動⇒イベント 余暇の提供⇒イベント、あおぞら、個別スタジオ

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年3月1日

事業所名 スタジオそら原宿

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	1	・必要に応じて児発管が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	3	5	1	・保護者に確認している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	特になし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	6	3	・保護者からのご要望がある時のみ実施している。
	㉔	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	1	4	4	・対象児がいないため、未実施だが、就労支援部会とは連携を図っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	1	・月に一度集まり、他事業所と情報交換や研修を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	5	・年に数回、地域の子どもたちも一緒に参加できるそらコンサートを実施。
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	3	・子ども部会、京大就労支援部会と参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	・話しやすい雰囲気を作っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	0	4	5	・相談などは行っているが、ペアトレは未実施なので、実施できるよう企画していきたい。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	・契約時に説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1	0	・フィードバック中などで伝えきれない場合は、後日別途時間を作り伝えている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	7	・保護者のニーズを聞き取り、必要に応じて検討する。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2	2	・苦情情報は無いが、ご意見、ご相談については、迅速に対応している。
	㉔	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	0	・HP上で、スタジオごとに情報発信している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	7	2	0	・必要に応じて面談室を使用している。 ・個人情報保護についての研修を実施したい。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1	0	・子どもの理解力によって、絵カードなど、言葉以外の方法で伝えている。

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和02年3月1日

事業所名 スタジオそら原宿

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	3	・そらコンサートを実施している。
非常時の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1	0	・定期的に研修を行っている。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	・年2回、訓練する日を設け、訓練している。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	2	0	・定期的に研修を行っている。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	7	2	0	・対象になる利用者がいないため行っていないが、マニュアルはある。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	2	5	2	・基本的に食事提供等がないため、イベント時などに保護者に確認している。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	・ファイルを作成し、いつでも閲覧できるようにしている。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。